朝の打ち合わせ（９月３日（金））　校長より

＜「多様性をチカラに変える」教育と「ジェネラティビティ」＞

〇毎月発行の「福島県教育委員会メールマガジン（うつくしま教育通信）」は、内容がバラエティーに富んでおり、いろいろと勉強になります。ぜひ一読を。

〇例えば、８月２０日発行の次の２つはどうでしょうか。お二人のメッセージは深いところでつながっています。

〇「みんな違っていい。人それぞれ。」で終わらずに、あきらめずに「対話」し「協働」する中で、共に生きる力、課題を解決する力、そして変革をもたらす力が身につくのです。そのような、「多様性をチカラに変える」教育を、ここ福島から始めていけたら・・・・

〇エリクソンといえば、「モラトリアム」や「アイデンティティ」の用語が知られていますが、成人期の発達課題である「ジェネラティビティ」という用語は、一般的ではない印象があります・・・・「次世代の人材を育てる」というニュアンスがふさわしいようです。教職にあるものは、当然ながら「ジェネラティビティ」を課題として職務に専念している・・・・

朝の打ち合わせ（９月２日（木））　校長より

＜あれこれ悩み・考えながら・・・＞

〇２学期は学校行事が目白押し。レベル２、３において、感染症対策と教育活動の両立をいかに図るか。粘り強く、さまざまな検討をお願いする。悲観的に準備し、楽観的に実行するようにしたい。

〇コロナ禍において、生徒の学びを保障しようとすれば、あれこれ悩み・考え、いろいろと大変にならざるをえないのでは。

朝の打ち合わせ（９月１日（水））　校長より

＜２学期実施予定の教育活動などの見直し＞

〇感染状況を踏まえ、２学期実施予定のいくつかの教育活動について、内容や時期を見直した。また、感染リスクの高い教育活動の停止・制限により、指導内容や順序などを変更した教科もある。

〇２学期というスパンの中で、いつ、何を、どのように学習指導や生徒指導等を行うのか。一つ一つ確認しながら、着実に実施願う。

＜新型コロナ感染学校対応ガイドライン＞

〇文科省は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の対象地域で、臨時休業等を判断するためのガイドラインを初めて策定した。

〇濃厚接触者に該当する恐れのある生徒を特定するための基準なども示されている。感染症対策と教育活動の両立に当たって、参考としたい。

＜全国学力テスト＞

〇文科省は小学６年と中学３年の全員を対象に行った全国学力・学習状況調査の結果を公表した。

〇小学校と中学校での学びを踏まえ、高校での学びをどう保障していくべきかを考えていくための参考にしたい。